

2022年3月25日(金) リモート開催

■会長／北川 和彦 ■幹事／飯田 兼光

◆司会＝玉本 広人 SAA

◆ゲストビジター＝本日はいらっしゃいません

◆会長告知・北川和彦会長＝ロシアによるウクライナ侵攻から始めて1ヶ月。私は毎日SBCの「ひるおび」とテレビ朝日の「テレビスクランブル」という番組を録画して、夜や朝早く起きて見えています。どちらも1時間半以上の長時間の番組ですが、いろいろな視点から考えさせてくれます。戦況が日々変わる中で情報を頭にたたき込んで、戦争の実態、市民の生活が日々脅かされる状況を把握しておくことが必要だと思います。

先々週の特別例会では、岩波壽元会員の経験された沖縄戦から戦争の実態を学びましたが、私たちにしても戦争の現実を理解し、今後、日本や私たち個人がどう動くべきかを考えることが必要だと思います。

地区大会の案内がようやく来ました。5月22日(日)午前9時から本会議、午後は大阪芸術大学客員准教授の谷口真由美さんの記念講演、演題は「ジェンダー平等と女性のエンパワメント」です。サンデーモーニングのコメンテーターとして活躍中の憲法学者です。事務局は諏訪湖クラブで、会場は岡谷カノラホールです。諏訪地域からガバナーが出ており、応援するためにも多くの会員の参加をお願いします。

先週金曜日には創立65周年記念事業として、思い出懇談会と題して三井、森、有賀、藤森郁男、山崎晃会員から入会前後の話をお聞きました。記念誌にまとめられますので、ぜひ読んでください。

特に印象深かった点ですが、第1は藤森会員の話で、諏訪はもともと商業の町で、大旦那衆がおられた。戦後、製造業が入って異業種交流の場が必要となり、商工会議所が中心になって事務局を八十二銀行として当クラブができた。ロータリークラブは諏訪の町に必要なことでした。ゴルフ場、ボーイスカウト、ガールスカウトの設立にかかわり、藤森会員の父上が寄付した奨学金制度等、イワナの放流、諏訪湖浄化、諏訪は一つの運動などさまざまな活動にかかわってきました。

森会員のお話では、以前は、諏訪地方の問題を並べ何を取り上げるか考えて奉仕活動をしていたとのことでした。

第2に有賀会員の発言で、特に委員会の引き継ぎが形骸化している。クラブのあり方、奉仕活動のあり方などについて、こうしたいというものを歴代引き継ぐことが必要ではないかとのことでした。

私自身も引き継ぎは単なる飲み会と考えていましたが、大いに反省したしだいです。やはり30分は、その年度に実施したこと、次年度にすべきことを整理することが必要だと強く感じました。

23期(1979～80年度)にRIの創立75周年を記念して座談会が行われましたが、玉本会員が思い出座談会の資

料としてデータ化していただきました。印象に残ったことを紹介します。

メンバーについては、自分の企業を守り、その上で違った職種の経験者と自由に話し、立派な個人に成長し、その個人が社会奉仕をすることが原則、クラブが主役でなく個々の会員が中心ということ、貴族的にならず、互いが切磋琢磨し心の通った間柄で、言いたいことをいう関係が大事。胸のバッチにほこりと生きがいを、世間の人たちには「お役に立つことがあれば、何でもサービスしますよ。」という気持ちで接することが大事。

奉仕活動については、お金を出してこと足れりとしたら、鼻持ちならない集団となる。エリートサロン化することは問題、社会に溶け込む努力、自らの手で奉仕活動に励む姿勢が必要で、現実の問題を気軽に取り上げ、社会に認められる奉仕活動をするべきだ、などです。

私が会長に就任して9ヶ月たちましたが、対外的活動をもっとしなければと感じています。中堅・若手会員との懇談会も必要と思いました。

本日は奥村会員の卓話です。昨日辞令が出て東京本社への異動が決まったそうです。会報・雑誌・広報委員会では副委員長として大活躍していただきました。今後のご発展をお祈りいたします。

◆幹事報告・飯田兼光幹事＝まずもって、奥村会員ご栄転おめでとうございます。新任地での活躍をお祈り申し上げます。後ほど卓話をお願いいたします。4月1日の例会は社会奉仕委員会の担当となりますので、ご準備をお願いいたします。会長がお話されたように地区大会が開催されます。資料配布と出欠の確認をさせていただきますので、多くの皆様のご参加をお願いいたします。例会終了後、理事会を開催しますので、リモート接続のままご参加ください。

◆委員会報告

●親睦・クラブ親善委員会 合田敦子委員長＝スワコエイトピークストライアスロン大会でお手伝いさせていただいております。ここで幟が完成しましたので諏訪クラブの皆様にも、ぜひ個人パートナーとしてご協力をお願いできればと思います。諏訪湖周辺などに多くの幟が立つことを目標にしており、ぜひ皆様のご協力をよろしくお願いいたします



●65周年実行委員会 川村総一郎事務局長＝先日、予算の再編成でメールとFAXをさせていただきました。これは当初予定になかった映画の視聴、特別例会、思い出懇談会に関する費用を計上させていただいたものです。ご確認の上、差し替えをお願いいたします。開催にあたり、



企画運営を担当していただいた各部会の方々、ご参加いただいた会員の皆様には改めて御礼を申し上げます。今後の予定といたしましては、記念誌の発行を5月末までに、そして記念式典祝賀会を6月5日の日曜日に開催いたします。各部会長、会員の皆様にはご協力をいただけるよう、よろしくお願いいたします。

◆クラブフォーラム

●**会員卓話・奥村実会員 退会のご挨拶も兼ねて**＝皆様、こんにちは。新入会員卓話ということで、お時間を頂きました。実は昨日異動の内示があり、東京大手町本部にある戦略金融推進部に異動することになりました。20年7月に入会させて頂き、あつという間の1年10ヶ月でしたが、皆様に大変温かく迎えて頂き、美食会や夜間例会で大変楽しい思い出も頂きました。本当にありがとうございました。引継ぎスケジュールの関係で、本日が最終日となってしまいます。65周年記念式典に向け、皆さんが一致団結される中、離脱するのは本当に心苦しいところです。急なお話で本当に申し訳ございません。本日は、新入会員卓話が退会のご挨拶ということになってしまいましたが、こんなロータリー会員がいたなど少しでも記憶にとどめて頂けると嬉しいです。



まず、今更ですが、簡単な自己紹介をさせて頂きます。滋賀県長浜市出身です。位置としては琵琶湖の右上あたり。有名なのは、羽柴秀吉・豊臣秀吉の初めての居城 長浜城があること。そして、滋賀県の面積の大半を占める琵琶湖、そして竹生島です。琵琶湖周航の歌で4番にも登場します。岡谷出身小口太郎さんの作詞と聞いて大変なご縁を感じます。

現在の自宅は奈良県。長野県からも修学旅行などで行かれるとも聞いています。近くには大和国一之宮 大神神社があります。大神と書いて「おおみわ」と読みます。ご祭神は酒造りの神 大物主大神（おおものぬしのおおかみ）。ご神体は三輪山で、自然そのものがご神体と言われています。諏訪大社も自然をご神体とする点では同じですね。大神神社は酒造りの神ということで、諏訪の酒蔵にも杉玉を飾っていますが、元々大神神社のから全国に広がったと言われています。

話が変わりますが、長野県のそばは非常に美味しいですね。諏訪市内のそば店はほぼ全店制覇しました。いずれも美味しい。ウナギもほぼ全店制覇できました。日本酒はもちろん、ソバ、ウナギ、そして、ワカサギは最強グルメですね。

諏訪支店の歴史を簡単に紹介します。源流は昭和2年、1927年発祥の南信無尽に始まります。今から95年前になります。その後、信州無尽と統合、大日本無尽、日本無尽となり、昭和26年日本相互銀行となります。その後、太陽銀行、太陽神戸銀行、太陽神戸三井銀行、さくら銀行と組織と名前を変えながら進化していきます。

弊行では、長野県内に3店舗を構えますが、全国的に見て3店舗を構える地方の県はありません。それは、弊行源流としての長野県であり、そして諏訪がかつて本店を構えた場所であるからと思っています。日本相互銀行時代の支店写真のイメージキャラクターは吉永小百合さんでした。

初めて諏訪に来たとき、電車から見える諏訪湖の美しさには感動しました。諏訪湖の美しさは、故郷・琵琶湖を思い起こします。今も時間はあると湖畔を散歩します。着任間もない頃、湖畔を散歩していると、超大物のコイが釣れるのに出会いました。1メートル越えてタモが破れてやっとのことで釣り上げられました。釣り人のおじさんも「諏訪湖に主だ」と興奮されていました。これで、なんだか自分の引きの強さを感じました。やはりこの土地には何か縁があるぞと。諏訪の地を知るためにずいぶんと歩き回りました。神社好きなので、諏訪大社、手長神社、足長神社、児玉石神社、先宮神社、千鹿頭神社など、それぞれ由緒あり、諏訪の歴史への興味は尽きません。フォッサマグナの西の端と糸魚川静岡構造線の交わる場所であり、縄文人が黒曜石を目差して集まった場所、なんともロマンに満ちています。八島ヶ原湿原のそばにある旧御射山遺跡（もとみさやま）で、平安時代から鎌倉時代に全国の武士が集まり技術を競ったなんて、知れば知るほどです。興味は尽きません。御柱祭を前に転勤するのはあまりに残念過ぎます。必ず見学に来ようと思っております。ついでに報告しますと、この諏訪にいる間にホールインワンも達成してしまいました。いままで黙っていてすみません。

最後になりますが、ロータリーの会員の皆さんとの出会いが最大のご縁です。楽しい時間を過ごすことが出来ました。藤森郁男会員と太田信男会員にご推薦を頂きました。4月からの仕事は企業さまの再生のお手伝いです。大口貸出金が劣化しないように、あの手この手で企業を元気づけるという仕事と理解しています。経済環境は、ロシアのウクライナ侵攻で、一層不透明な状況となりましたので、業績が傾く会社も多数出てくる心配もあります。中でも、キーワードは、変化へのチャレンジであり、私どもは企業の変革をお手伝いすることと理解しています。近江商人としては商売下手ですが、売り手よし、買い手よし、世間よしの三方よしで、頑張りたいと思います。何かお困りごとがあれば、「はい」「イエス」「もちろん」でお受けしますので、何なりとお気軽にご連絡ください。

最後になりますが、皆様の益々のご活躍とご健勝を祈りまして、私の卓話と最後のご挨拶とさせて頂きます。有難うございました。

◆今後の例会日程

4月1日	金	クラブフォーラム（卓話）リモート開催
4月8日	金	クラブフォーラム（会員卓話）リモート開催
4月21日	木	合同お花見例会 ※感染レベル2の場合